



荘内だより

荘内病院
臨床研修通信
Vol.18
2025.3 発行

協力病院紹介

医療法人徳洲会
南部徳洲会病院
院長
服部 真己 先生



南部徳洲会病院は昭和 54 年開設以来「生命（いのち）だけは平等だ」の理念のもとに「いつでも、どこでも、だれでもが最善の医療を受けられる社会」を目指し、日々、救急医療や、僻地離島医療を柱に高度先進医療、介護福祉、予防医療に幅広く取り組んでいます。

救急医療の分野では、開院翌年の昭和 55 年、沖縄県の民間病院第 1 号の救急指定病院に指定されました。その後も「絶対に救急を断らない病院」を合言葉に職員一丸となって取り組んでいます。離島救急に関しても昭和 60 年から洋上救急協力や自衛隊機離島救急搬送協力を続けています。病院に設置したヘリポートは、ドクターヘリを運用している屋上設置型ヘリポートです。これにより、ヘリで搬送された患者様を、より迅速に救急室や集中治療室へ移動し治療することが可能になりました。さらに、日常に救急医療のみならず、突発的な大規模災害にも対応すべく、トレーニングを行っています。昭和 54 年の開設当初から研修医を受け入れ「救急を断らない、何でも診ることのできる医師」をモットーに、実践方式で実力を身につける密度の濃い研修教育を行っています。

教育面にも力を入れており、徳洲会グループの実践能力だけでなく沖縄県の群星沖縄の研修プログラムにも属しており、毎年、ミシガン大学から講師を招いての教育回診が年に数回、総合診療医としてご活躍される徳田安春先生の教育回診が毎月 2 回開催されています。その他にも多くの教育回診や勉強会を毎年実施しております。

「徳洲会グループ+沖縄県」のハイブリッドな研修環境をぜひ感じて頂けたらと思います。

「研修医としてでなく医師として成長できる」そんな研修教育を行っています。



仮眠はカーテンの
ミッフィーちゃんに
見守られながら…



研修医室をリニューアル！

新・研修医室を 紹介します

かねてより進めていた研修医室の
引っ越し作業が終わり、念願の新・研修医室が
ついに完成しました！

301.302 会議室だった場所を改装、専用デスク
19席を配置して、より多くの研修医や医学生の
皆さんが利用できる体制としています。



掲示コーナー

みんなの予定はホワイトボードと掲示物で確認。天井のスクリーンを下ろせば少人数向けのレクチャーコーナーに早変わりします。



フローリング

1年次の先生が庄内の自然をイメージしてデザインしました。癒し効果が期待されます。アクセントのお花もかわいい！



マグネットクロス

失くしたくない書類を磁石で壁に張り付けて、いつでも見られるようにしておけます（壁際の席限定）。実はピンも刺すことができます。



大きな窓

晴れた日には鳥海山や月山を望むことができます。良い景色と新調したデスクのおかげで、より仕事が捗るかも？

令和7年度研修医は3名となりました！（次号詳細）

○今年も6月頃から令和8年度採用研修医の募集を行う予定です。

ぜひ周りの医学生に荘内病院を紹介してください！病院見学は随時募集中です！

○荘内病院臨床研修医のリクルートサイト・Instagram・募集動画はこちらから➡



先輩の皆様のお便りや寄稿をお待ちしています。連絡先が変更になった場合もご連絡をお願いします。

【連絡先】 鶴岡市立荘内病院臨床研修秘書 伊藤 江里子

電話：0235-26-5111 Email：kenshu-secretary@shonai-hos.jp

